

令和3年産 麦作情報 (Vol.4)

令和3年4月13日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/



1. 3月以降の気象経過(図1)

<3月> 記録的な高温

1ヶ月を通してかなり気温が高く、月平均気温は、3月として過去最高の平年差+3.3℃を記録しました(日照時間:平年比108%, 降水量:平年比160%)。

<4月上旬> 気温は高く、日照時間は多い

4月上旬の平均気温は平年差+1.3℃と高くなりました。(日照時間:平年比111%, 降水量:平年比33%)

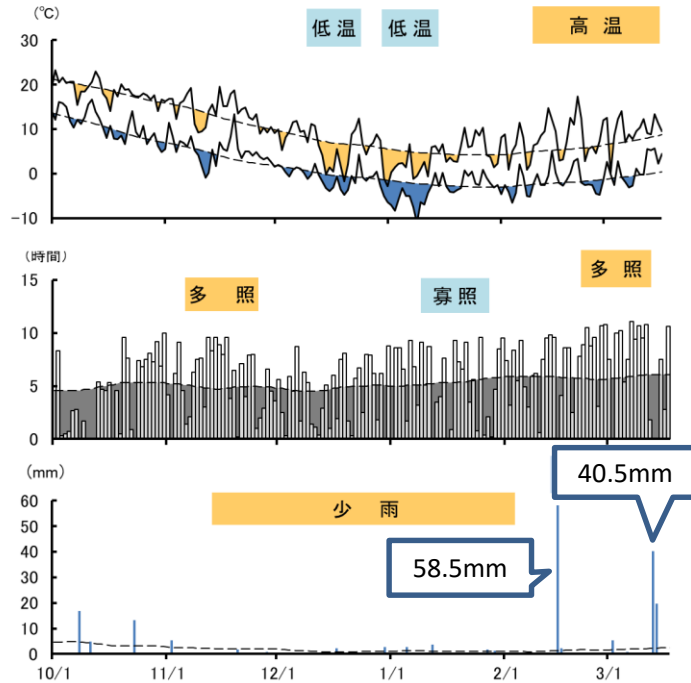


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温, 中:日照時間, 下:降水量
※点線は平年値

2. 生育調査ほの生育状況 (4月9日現在, 表1, 次頁写真)

- ◆ 茎数は、10月中に播種したほ場では平年や前年より多くなっています(表1)。
- ◆ 幼穂長は、適期に播種したほ場では平年や前年より長くなっています。特にシュンライやホワイトファイバーは前年に比べて10~20mm長くなっています(表1)。
- ◆ 幼穂長から予測した出穂期は、10月中に播種したほ場では前年より早くなっています(表2)。

表1 生育調査ほにおける4月9日付け調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月/日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	10/16	-17	-7	48.5	+21.3	+20.5	880	125%	132%	19.6	+13.9	+8.0
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	10/20	-12	-4	35.0	+4.7	+9.1	598	129%	114%	8.0	+2.9	+1.5
	真野 (石巻)	10/29	-19	+2	24.4	-0.9	-1.7	590	185%	109%	7.0	+2.8	-2.2
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	10/20	-19	/	47.7	+22.1	/	757	196%	/	30.7	+20.5	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/29	+20	+28	23.4	+1.2	+1.6	564	105%	72%	1.5	-0.5	-0.5
	太田 (桃生)	10/20	-13	/	45.1	+10.8	/	876	106%	/	8.8	+5.0	/

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 水沼ホワイトファイバー調査ほは調査2年目、太田シラネコムギ調査ほは、調査5年目のため平年差・比は記載しない



表2 生育調査ほにおける生育ステージの予測

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月/日)			減数分裂期(月/日)			出穂期(月/日)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	10/16	-17	-7	4/13	-7	-6	4/22	-10	-6
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	10/20	-12	-4	4/22	+0	-1	5/01	-5	-3
	真野 (石巻)	10/29	-19	+2	4/22	+0	+1	5/01	-4	+1
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	10/20	-19	/	4/10	-9	/	4/20	-9	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/29	+20	+28	5/03	+3	+1	5/12	+1	+0
	太田 (桃生)	10/20	-13	/	4/21	-6	/	5/02	-7	/

※ 播種日については確定日。減数分裂期と出穂期は、4月9日時点の生育中庸な3株の主茎における幼穂長の平均値をもとに予測した。

※ 生育ステージの前年差、平年差における+は遅れを示し、-は早まりを示す。

※ 生育中庸な3株の主茎における幼穂長の平均値をもとに予測。

※ 平年値は、生育ステージの進行が早かったH28のデータを含む。

3 今後の管理

(1) 追肥

① 減数分裂期追肥

◆ 幼穂長や止葉葉耳間長を確認し、**適期追肥**を心がけましょう(前号参照)。特に、この時期は幼穂長が1日で5mm程度伸びるので、**適期を逸さないよう**注意しましょう。

◆【大麦】追肥の遅れは硬質麦の原因となり、**品質低下**を招きます。**早めに作業を開始**しましょう。

表3 追肥の時期と施用量の目安

生育ステージ	減数分裂期	穂揃期 (8割以上が出穂)
追肥の目的	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	追肥時期	4月中旬～4月下旬 (幼穂長20～30mm)
	10a当たり 施用量	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) (尿素4.5～5.5kg)
小麦	追肥時期	4月下旬～5月上旬 (幼穂長20～50mm)
	10a当たり 施用量	窒素成分4～5kg (硫安20～25kg) (尿素9～11kg)

※ 追肥時期は、本年の生育状況による見込。必ずほ場毎の幼穂長や葉耳間長を確認してから追肥を行うこと。

◆「ホワイトファイバー」については、もち性大麦に豊富に含まれている水溶性食物繊維「β-グルカン」含有率の低下を避けるため、減数分裂期追肥を必ず行ってください。

②【小麦のみ】穂揃期追肥

◆ 出穂状況を確認し、適期追肥を心がけましょう。

(2) 排水対策：麦類は茎立ち以降、**湿害に弱くありません**

- ◆ 暗きよの水閘が閉じているほ場がないか、再点検しましょう。
- ◆ 明渠が崩れていないか確認し、必要に応じ手直しをしましょう。
- ◆ 大雨の後にはほ場を巡回して、排水溝に稲わらなどが詰まっていないか確認しましょう。

(3) 赤かび病防除

- ◆ 赤かび病防除は、防除時期(特に1回目)が重要です。
- ◆ 基本は2回防除です。ただし、降雨が続く場合や「夏黄金」の場合は3回の防除が必要です。

1回目：開花始期～開花期

2回目：1回目の7～10日後

(3回目：2回目の7～10日後)

★ 開花始期～開花期の大まかな目安 ★

【大麦】出穂期後5～8日頃

【小麦】出穂期後10～13日頃

※ 出穂期の予想は、表2や表4を参照願います。

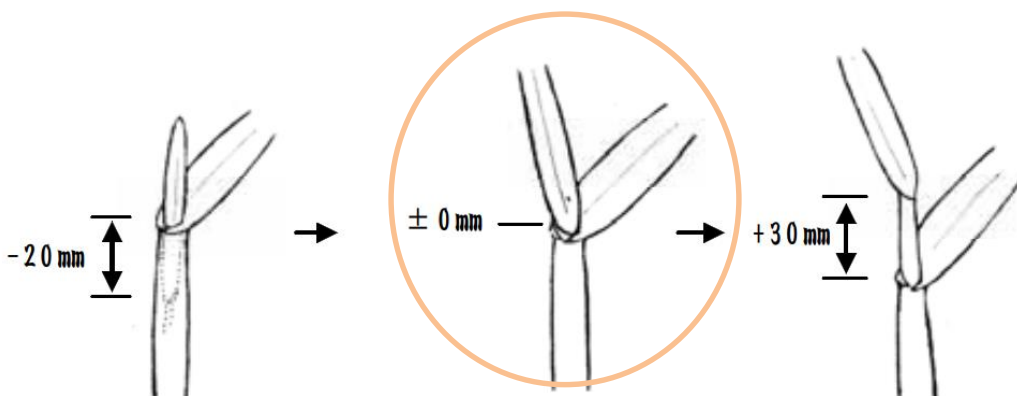
表4 葉耳間長±0mmから出穂期に達するまでの日数の目安(平均気温は、葉耳間長0mm～出穂期)

平均気温(°C)	シュンライ	ミノリムギ	シラネコムギ
9	12～13日	13～14日	—
10	11日	12～13日	9～10日
11	10日	11～12日	9日
12	9～10日	10～12日	8～9日
13	8～9日	9～10日	7～8日
14	—	—	7～8日

全茎数の40～50%程度が葉耳間長±0mmとなった頃から出穂期に達するまでに必要な、日平均積算気温は、「シュンライ」で110°C程度、「ミノリムギ」で122°C程度、「シラネコムギ」で100°C程度です。

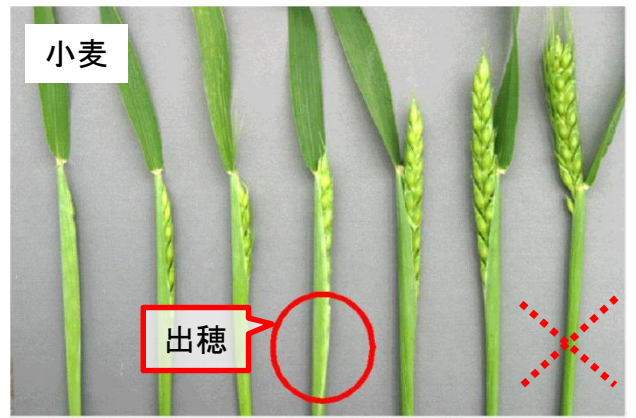
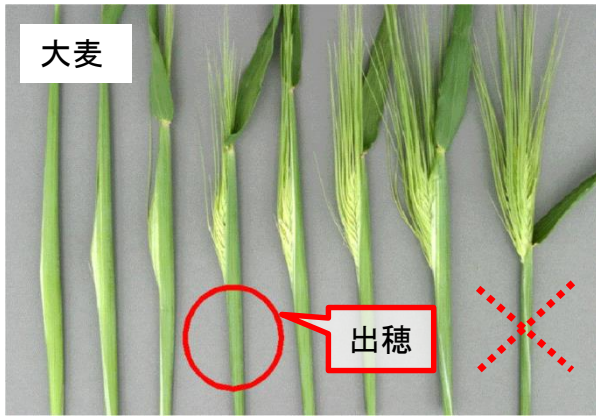
(極端に弱勢な茎は調査に使用しない)

普及に移す技術83・84号より



出穂期、穂揃期の判断

麦類の出穂とは、**芒を除く穂の本体**が顔を出した状態(写真の丸印の状態)です！



- ★ ほ場の出穂期とは、全茎数の4～5割が出穂した(写真の丸印になった)日です。
- ★ ほ場の穂揃期とは、全茎数の8～9割が出穂した(写真の丸印になった)日です。
(穂揃期は、出穂期の1～2日後)

1か月予報 (4/10～5/9) 仙台管区气象台 4月8日発表

天気は数日の周期で変わりますが、
平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】	20	40	40
【降水量】	30	40	30
【日照時間】	30	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

1週目	20	50	30
2週目	20	40	40
3～4週目	20	40	40

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い